



A

S

K

グリセリン圧力計付切換バルブ

SVPG

配管工数と取付パネル加工の削減

従来の圧力計切換バルブに耐久性抜群のグリセリン圧力計を内蔵し、切換バルブと圧力計との配管をなくし、圧力測定システム全体の配管工数の削減と、取付パネル加工の削減を可能にしました。グリセリン圧力計とバルブ技術の合体です。

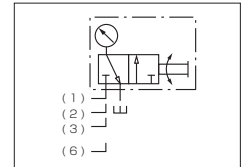
特長

圧力バランス形のロータリー式切換バルブのため、ハンドル矢印を回路番号に合わせるだけで、容易に回路圧力の測定が可能です。

- 各ポート間の中間には、“0”位置をつけていますのでハンドル矢印を“0”に合わせれば、圧力計内残圧がドレンポートへ排出され、圧力計測時以外は圧力計指針は常時“0”位置を指示します。そのため、圧力計の精度、耐久性が向上します。



JIS油圧図記号



型式説明

SVPG-6 18-40MPa

1

2

3

4

1 機種

グリセリン圧力計付
切換バルブ

2 ポート数

3 : 3ポート
6 : 6ポート

3 接続ねじ口径

18 : Rc1/8
14 : Rc1/4

4 最高目盛

4 : 0~4MPa 16 : 0~16MPa
6 : 0~6MPa 25 : 0~25MPa
10 : 0~10MPa 40 : 0~40MPa

仕様

最高使用圧力	21MPa
耐圧	38MPa
取付方法	パネル取付形
使用流体	一般石油系作動油 (りん酸エステル系作動油・水-グリコール系作動油の 場合は別途お問い合わせください)
ドレンポートからの 漏れ量	設定条件 作動油 : ISO VG32 油温 : 45±5℃ 7MPa : 20cm ³ /min 以下 14MPa : 30cm ³ /min 以下 21MPa : 40cm ³ /min 以下
ドレンポートからの 許容背圧力	1.5MPa以下
質量	2500g

使用上の注意

- 切換バルブの各ポートに配管する場合は、各ポートにバランスよく圧力がかかるように接続してください。
- このバルブのシール構造は、スプール外径と本体内径がクリアランス10μ程度のメタルシール方式で構成されています。ゴミなどが付着すると、ハンドルが重くなったり、動かなくなることがありますので、作動油の汚れにご注意ください。
- 配管のフラッシングの際には、汚れたフラッシング油がバルブに流れないようにしてください。
- 定期的なハンドル切換操作を実施してください。長期間、ハンドル切換操作を行わないと、 hidroロック現象により、ハンドル操作が重くなる事があります。
- ドレンポートに内圧が保持されるとバルブハンドルが抜ける恐れがあります。ドレンポートは必ずドレン配管に接続し、許容背圧以下でご使用ください。

外形寸法図

